

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

日本赤十字社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています】

- ✦ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています】

- ✦ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ✦ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ✦ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています】

- ✦ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ✦ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

《皆様へのお願い》

(付き添いの方もお願いします)

- ◇ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ◇ 入口にて体温測定を実施しています。
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)
- ◇ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

新型コロナウイルス感染の拡大下でも、毎日約 3,000 人の患者さんが輸血を必要としています。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症について

1. 新型コロナウイルス感染症は、飛沫や接触によってうつる感染症です。また、閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。
2. 通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性が最も高くなると言われています。一方、無症状又は症状の明確でない人から感染が広がる恐れがあるとの指摘や研究結果もあります。
3. 感染を予防するためには、不要不急の外出の自粛、密閉、密集、密接の「3つの密」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行等が重要です。

※厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A」より抜粋

献血会場での安全対策

◎感染者や感染の疑いのある方の献血会場への入場をお断りしています。

- ①入口での注意喚起 (写真①)
- ②体温測定 (写真②)
- ③手指消毒 (写真③)
- ④お願いパンフレット (写真④)

◎会場入口での手指消毒を徹底し、接触感染を予防します。

(入口の他にも要所に消毒液を設置しています。)

◎必ず、マスクの着用をお願いしています。

◎献血にご協力いただく方には、健康状態を正確にお答えいただくなど責任ある献血をお願いしています。

新型コロナウイルス感染症対策として

以下に該当する方は

「献血」をご遠慮いただいております。

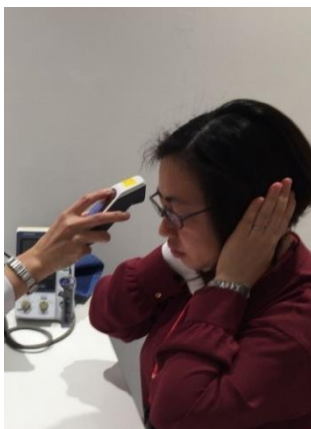
- ◆ 海外から帰国して「4週間以内」の方
- ◆ 発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状(※1)のある方
- ◆ 新型コロナウイルス感染症(または感染疑い)と診断された方と4週間以内に濃厚な接触があった方(※2)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症(または感染疑い)と診断された方
- ◆ 味覚・嗅覚の違和感を自覚する方

※1 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、腕部・顔面痛、下痢、嘔吐・嘔気など

※2 「濃厚な接触があった方」とは、次の範囲に該当する方です。

- ・患者(患者)と同居あるいは接触の濃厚(室内、長時間等を含む)があった方
- ・患者の濃厚な接触者(密着者)と接触、接触者として濃厚な接触
- ・患者(患者)の発熱が収まるまでは患者等の濃厚な接触に接触した可能性が高い方
- ・手で触れることの出来る距離(目安として1メートル)で、必要な呼吸動作をして、「目撃(目撃者)と15分以上の接触があった方

(※1・※2は厚生労働省「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A」を参照してください)



写真②



写真③



写真④

写真①

Q1 献血会場で感染することはないのか？

A1 以下の対策により安全な会場設営に努めています。
体温測定、手指消毒、マスクの着用、会場内での消毒及び清掃を徹底し感染防止に細心の注意を払っています。

Q2 日赤職員から感染する可能性がないのか？

A2 体温測定、手指消毒、マスクの着用、会場の消毒及び清掃を徹底しています。
看護師は献血者毎に手袋を交換しています。

Q3 既に感染している献血者が無自覚で献血会場に来ることはないのか？

A3 献血会場入口での体温測定で、発熱が認められる方及び以下の項目に該当する方は、会場への入場をご遠慮いただいています。

- ・海外から帰国してから4週間以内の方
- ・発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方
- ・新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方と、4週間以内に濃厚な接触があった方。
- ・新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方
- ・味覚、嗅覚の違和感を自覚する方

Q4 これまでに感染した方が献血に来た事例はあるのか？

A4 ありません。また、万が一来られた場合は、献血をご辞退いただいています。

Q5 献血実施後に、社内で献血協力者以外の社員に感染が確認された場合はどのような対応を取ればいいのか？

A5 献血協力者に対し、献血後に保健所から新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査の対象（濃厚接触者）であると連絡があり、健康観察期間中に献血日が含まれていた場合は、該当献血者の「献血日、氏名、生年月日」をできるだけ早く血液センターにご連絡いただくようお願いしております。また、献血された方が、献血後4週間以内に医療機関で「新型コロナウイルス感染症」または、「新型コロナウイルス感染症の疑い」と診断された場合や、4週間以内に発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状があった場合も血液センターへのご連絡をお願いしています。こちらについては、全ての献血者に対し、献血時にご案内させていただいております。

Q6 献血することによって、その後感染しやすくなるのか？

A6 そのようなことはありません。

Q7 新型コロナウイルス対応として献血を中止もしくは延期したいが？

A7 献血会場の安全対策は万全を期していますので、予定どおり是非献血にご協力をお願いします。